

## 主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2016年度 売上高(実績) (億円)	2017年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
オプジーボ点滴静注	406	△23.8%	1,039	840	△19.2%
グラクティブ錠	137	△7.5%	294	295	+0.4%
オレンシア皮下注	68	+24.7%	116	145	+25.2%
オパルモン錠	75	△14.9%	170	140	△17.8%
リカルボン錠	54	△3.5%	113	110	△2.6%
フォシーガ錠	53	+47.6%	78	110	+40.9%
リバスタッチパッチ	45	+1.8%	89	100	+12.9%
イメンド／プロイメンド	50	+0.3%	99	100	+1.2%
カイプロリス点滴静注用	27	+1440.0%	20	60	+206.1%
オノアクト点滴静注用	27	△0.1%	57	60	+4.8%
オノンカプセル	24	△20.3%	68	55	△19.0%
ステーブラ錠	21	△13.8%	48	45	△5.7%
パーサビブ静注透析用	14	(2017年2月発売)	2	30	+1439.8%
オノドライシロップ	15	△20.8%	41	30	△26.9%
フオイバン錠	16	△21.2%	38	30	△21.7%
キネダック錠	12	△24.9%	29	25	△13.2%

## 「オプジーボ®点滴静注」、国内において胃がんについての効能を追加承認取得

抗PD-1抗体「オプジーボ®点滴静注」は本年9月、胃がんについての効能が追加承認されました。今回の承認取得によって国内において承認された対象がん腫は6がん腫となりました。

胃がんは、世界の中でもアジアに患者が多く、2017年の国内における罹患数は約13.3万人、死亡者数は約4.7万人と予測されています。

今回の承認は、胃がんの三次治療以降に対してですが、一次治療からご使用いただけるようにするための臨床試験をすでに実施しています。

これまでに承認されているオプジーボの効能・効果(国内)	承認年月
根治切除不能な悪性黒色腫	2014年 7月
切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	2015年12月
根治切除不能又は転移性の腎細胞がん	2016年 8月
再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫	2016年12月
再発又は遠隔転移を有する頭頸部がん	2017年 3月
がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃がん	2017年 9月